



手話で『こんにちは!』という意味です。

文京区議会議員 松下純子  
区政報告  
平成二十三年 十二号



## 毎年5億円が簡単に節約できたら、する？しない？

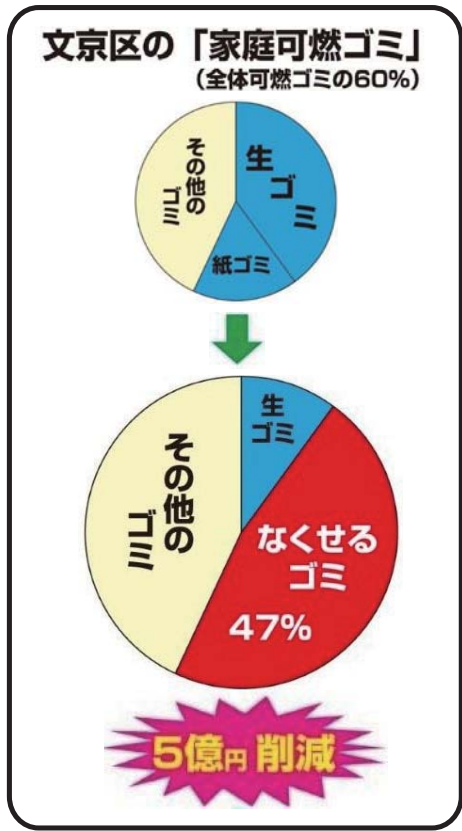
ゴミ袋1袋(45ℓ)の処理をするのにかかる費用は506円!文京区では、ごみ処理に27億3600万円の税金を使っています。この処理料を安くするためにできる事は何でしょう?1番目はゴミの水分量を減らす事、2番目はゴミと資源になる紙などを分別する事です。

### ゴミ処理料金は重さで決まる!だからゴミの水をしぼる!

ゴミの水分を減らすという点ですが、生ごみの約70%は水分です。水分を切って捨てるだけで、重さは約3分の1になります。やり方は簡単、生ゴミを捨てる前にしばらく置いて水を切るだけです(最後にぎゅうとひと絞りできたら最高)ゴミ処理料金は重さで決まります、みんなできれば総額約3億円の削減です。

### 雑紙ってどんな紙?汚れていないほとんどすべての紙です

今は燃えるゴミに入れている紙類を、資源ごみとして分別したら、可燃ごみと資源ごみの差額処理費用で約2億円削減できます。資源になる紙ごみは、例えばお菓子やカレーやシチューなどの外箱やレシート・シュレッダーなどあらゆる紙が含まれます。リサイクルできる紙ごみの種類と2億円を削減できるという事実を改めて伝えていく必要があると思います。『雑紙袋』を家庭のゴミ箱の横に置くだけで、簡単に始められます。「生ごみの水切り」と「紙ごみ分け」を共にやれば、文京区で一年間になんと5億円の節約!事業ゴミもあわせると、7億円以上の削減です。



## 毎年5億円が簡単に節約できたら、する？しない？

# 松下純子が文京区の『お金』について考えました

初の決算委員会の総括質問で、文京区のお金についてたくさんの発見や疑問がありました。区の予算は各部からの予算要求に対して、財務課で検討したうえで、区長が最終決定をします。

## 提案1 予算提案した事業が却下された場合、理由を含めて公表することは可能か？

区回答 24年度予算から予算要求額と査定額を公表します。査定理由の公表は検討中です。

純子意見 却下された予算は理由と共に区民に公表することが、区政の透明化につながります。予算には限りがありますから、すべて叶えるのは難しくても、その基準は知りたい。区民はお金の使い道や理由を知る権利があるのです。区の主人公は区民なのですから。

## 提案2 予算化されなかった事業を、見落としの防止として再度検討することは可能か？

区回答 予算化されなかった事業を取り巻く状況に変化がない限り、予算計上について再検討することはありません。

純子意見 予算化に至らなくても、必要性が高い事業はいくつもあるはず。区民満足度を上げるために、年度途中や補正予算などで何度も検討を重ねる必要があるのではないのでしょうか。

## 提案3 経常経費を予算ベースで算出することは可能か？

区回答 経常経費の見直しは重要ですが、現時点では算出困難です。

純子意見 すぐに活用されない区有財産は、貸付などにより歳入の確保をしていきます。その他には、松下議員が提案した自動販売機設置方法の見直しによって新たな収入を増やします。

## 提案4 公有財産の有効活用と、税収以外の収入の可能性、見込みについて伺います。

区回答 経常経費は、区を運営するために必要とされる経費です(人件費、扶助費、公債費+ $\alpha$ )。一般家庭ではその年の収入や出費予定に合わせて家計を見直し、家族の力を合わせて節約したりします。これだけにかかるという経常経費の中にも、見直す必要があるものは必ず入っていると思うのです。特に経常経費のなかでもプラス $\alpha$ の部分(ここ数年経常的に行われている事業)を、経常経費以外の事業と比較したり統合を検討したり、本当にこれは必要か?と疑問の目を向けて経費の削減を意識していくことが必要ではないのでしょうか。区の職員の方々や区民のみならずと共にご考えていきたいと思っております。

純子意見 自動販売機設置料の入札制度による収入増だけでなく、旧元町小学校や、旧五中校庭の例にみられるような土地の貸し付けをするなど、公有財産の有効活用をすすめる必要があります。税収以外の収入を確保していくために、ワンコイン寄付制度や公共の場所や物や空間を使って企業とタイアップや、シビック地下2階の有効活用をするなど、新しい方法をどんどん提案していきます。

**提案 5 指定管理料の人員費が物件費に占める割合と金額について伺う。**

区回答 現在指定管理者の人員費は、区の物件費総額の 8.9%、約 11 億円です

純子意見 職員数の削減が行われている一方で、物件費は前年度比 5.3% の増です。区が民間に業務委託をする指定管理者制度の費用は、物件費として計上されるので、人員費が表に出てこない「隠れ人員費」が存在しています。物件費と人員費とバランスにはこれからも指定管理者制度のあり方と共に見守っていきます。

**提案 6 高齢者向けの介護予防事業に、文の京体操 (利用者一人当たり 1 万 5 千円の経費) 転倒骨折予防教室 (利用者一人当たり 8 万 3 千円の経費) があるが、この事業では、一人当たりにかかる費用が 5.5 倍以上違うが見直す必要はないか?**

区回答 個別の事業ごとに算出した 1 人当たりのコストやその効率性について単純比較をおこなうことは困難であると考えます。骨折予防教室については再考する。













純子意見 同じ課の中で似たような事業があった場合に、課の中で比較検討する必要があります。また同じような主旨の事業が、複数の課にまたがって行われているのが現状です。適切に事業を実施しているものと、非効率なものや不用不急の事業評価を客観的に行わなければなりません。こういった所管部署が違っていても、類似の事業同士を比較評価するためのシステム作りは必ず必要です。新たな行財政改革推進計画に盛り込まれている効率的な組織の見直しに期待します。

**提案 7 職員の人材育成や夢の実現になる「政策創生塾」の成果と事業化の状況について伺う。**

区回答 政策提案は 60 件となり、現在のところ 3 件が事業化されております。

純子意見 「政策創生塾」はやる気と能力のある職員の方がアイデアと取り組みを話しあっている庁内組織です。とてもいい案がでていながらもかかわらず、事業化されている数が少ないと思います。一度ダメなら『却下』ではなく、よい案に育ちそうならば、何度も練り直しの機会をつくる必要があると思います。キラッと光るアイデアを埋もれさせないシステム、がやる気のある職員の方々の応援につながると信じています。

自治法で言われている「最小の経費で最大の効果」を上げる事が自治体に望まれている事です。最小の経費で、最大の効果に最大限の満足を加えた財政運営と、区長の英断に今後も期待します。

区民一人当たりの使いみち		区民一人当たりの決算額 35万4,259円		一般会計決算額 706億9,165万円 区民 19万9,548人 (23年3月31日現在の外国人登録者を含む住民登録者数)	
12万9,011円  保育園の運営、高齢者や体の不自由な方の福祉などに (民生費)	4万8,901円  庁舎等の管理運営、選挙、広報・広聴、防災対策などに (総務費)	4万2,788円  基金の積立・その他に (公債費を除く諸支出金)	3万7,067円  校舎の整備、図書館・幼稚園の運営に (教育費)	1万8,216円  環境保全、清掃事業、リサイクルなどに (資源環境費)	1万5,872円  コミュニティバス運行、区民会館、公会堂、スポーツ施設の運営などに (区民費)
1万5,262円  区が借り入れた区債の償還などに (諸支出金のうち公債費)	1万4,553円  区民の健康を守る保健所などの運営に (衛生費)	1万4,238円  道路や公園の整備に (土木費)	1万1,533円  まちづくりや住宅対策に (都市整備費)	3,907円  地域産業の振興や消費者保護に (産業経済費)	2,911円  議会の運営に (議会費)

(区報より抜粋)

## 1 1月22日に第4定例会にて代表質問を行いました。今回の質問内容は大きく7つ。



### パネルで5億円削減を訴える純子

議会のインターネット動画がいつでも見られます。  
<http://www.bunkyo-city.stream.jfit.co.jp>

- 1 発見!ゴミ処理費用6億円の削減。「生ゴミの水分はしぼる」「紙ゴミは分ける」で6億円!
- 2 安全な道路、防災性を上げる歩道スペースの確保と自転車問題
- 3 健康と生きがいづくり、わかりやすい介護サービスの提供。元気高齢者が活躍する文京区へ
- 4 特養老人ホームと、障がい者等グループホームをさらに充実させるために
- 5 さらにパワーアップした保育事業。入園基準の根本的な見直し提案
- 6 シビックセンターの有効利用。倉庫スペース等の見直しや地下2階の「シビ地下構想」
- 7 ユニバーサルな文京区。積極的な手話字幕サービスと、ガイドヘルパー体験の導入提案

筑波特別支援学校高等部 28名の生徒さんに「ダンス」の授業をしました。1時間、ストレッチから自由ダンスまでの内容で、みなさんととても喜んでくださり大成功だったと思います。この授業は放課後支援活動の一環として行われました。これからもいろいろな形で障がい者のみなさんを支援していきたいと思っています。



最後は100% 勇気



風船の赤いリボンオブジェ

エイズ展に見学してきました。エイズという遠いイメージがありましたが、一つ一つの展示がわかりやすく、主催者の熱意があふれていました。展示には、エイズだけでなく、女性が妊娠しにくくなる原因の一つ、クラミジア（性病）の紹介がされていました。エイズ展という一般の方の興味を引きにくい部分もあります。内容は一般の人でも知識としてあれば有益なものでしたので、もっと一般の人でも関心を持ちやすいネーミングを考えれば、見学者が増えるのではないかと主催者にはお伝えしました。

障がい者福祉団体本郷福祉センター若駒の里「ほんわかまつり」に参加してまいりました。地域の方とのつながりを深めていくことを目的としたイベントです。放課後支援事業や障がい歯科検診への取り組みも行い、利用者さんの立場に立った温かい事業が運営されています。ほんわかとした気持ちになって帰ってまいりました。



ほんわかとなる飾り付け



デコレーション。

子ども達にほめられました!

向丘地区対クリスマスケーキ作りに参加しました。子どもたちと一緒に、ケーキのデコレーションに腕をふるいました。みんなのかわいらしいケーキがたくさん並びました。子どもたちは、自分のケーキを誇らしそうにながめていて、大切そうに家に持って帰りました。おいしい匂いに包まれた、とても幸せな時間となりました。

<http://www.matsushitajunko.jp> またはFAX 3814-1518までご意見おきかせください。月に2回メール通信を行っています。ご希望の方は上記アドレスまで連絡下さい。